企業経営にプラス plus するワンポイント情報誌

あきた商工Biz plus

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

7
2019
July
Vol.546

今こそ『稼ぐ力』を高めよう！商工会は全力でサポートします

無農薬自家栽培しいたけを乾燥機から取り出す様子

販路拡大等の定番となりつつある小規模事業者持続化補助金（以下：持続化補助金）がスタートしてから今年で6年目となりました。これまで約 1,100 件の事業者が活用し、売上の増加につながっています。また、補助金申請をきっかけに自社の経営課題の発見や経営拡大への意欲増進に結び付くなど、計画を作成するメリットを多くの方が実感しています。

将来の経営ビジョンを明確にし、経営の羅針盤となる経営計画のレベルを上げていくことは持続的に発展していくためにも大変重要です。

まずはこれまでの経営を振り返り、次にそこから一歩踏み出して従来とは違った大胆な取組みにより、『稼ぐ力』を高め、売上や利益の増加につなげましょう。商工会は『稼ぐ力』を高めるための積極的なチャレンジを全力でサポートします。

現状から一歩踏み出し、経営計画のレベルを上げて『稼ぐ力』を高めよう!

経営計画の作成レベルにより『稼ぐ力』を3つのステージに分類し、それぞれが『稼ぐ力』を高めるために何をすべきかについてご紹介します。ステージごとに活用できる補助金も整理していますので、ご活用ください。特に「ステージ２」で紹介している持続化補助金は、補助金の登竜門として認知度が高く、その活用をきっかけとして、経営革新へとステップアップが可能になります。商工会のサポートを受けながら積極的に次のステージへチャレンジしましょう。

ステージ1（現状維持）

取組状況

経営計画作成のレベル ➡ **計画なし**

【計画を作成して事業を実行！】

■経営計画は、様々な夢や想いを「単なる夢」で終わらせないために、「何を」「いつまで」「どうやって」実現するのかといった具体的な目標を設定したもの。経営ビジョンを達成するために、まずは経営計画を立てることから始めましょう。

【計画作成の手順】

①自社の将来像の明確化（経営目標）
②自社の強みと弱みを具体的に認識
③商品やサービスの売上目標を設定
④経営目標の達成に効果のある設備計画の策定
⑤目標とした数値が適切な計画となっているか確認

『稼ぐ力』を高めるためには？

ステージ2（経営の維持・持続的発展）

取組状況

経営計画作成のレベル ➡ **単年度計画（１年以内）あり**

【経営革新の土台となる計画を作成し、新たな取組に着手！】

■経営計画は経営全体を網羅したもの。その実現には個別の事業計画が必要です。また、事業の内容を常に見直し、次のステージの土台となる経営拡大と将来の経営ビジョンを意識した計画づくりを進めましょう。特に持続化補助金等を複数回活用している事業者は、これまでの取組をさらに発展させ、「ステージ3」を目指しましょう。

【主な取組事例】

①店舗（工場）レイアウトを一部改装
②新商品開発のために必要となる様々な材料を購入
③販促物の作成や商談会出展で販路拡大
④新しい商品パッケージへデザイン一新
⑤人手不足・業務効率化のために自動発券機を導入

活用できる補助金

小規模事業者持続化補助金（国）

商工会と一体となって経営計画を作成して取り組む販路拡大事業等を支援
・補助率：2/3　　・限度額：50万円

二次締切
令和元年7月31日（水）

小規模企業者元気づくり事業費補助金（県）

ＩＣＴ導入による生産性向上、販路拡大等に係る事業拡充に向けた取組を支援
・補助率：1/2　　・限度額：100万円

二次募集
令和元年7月8日（月）～8月9日（金）

ステージ3（経営拡大・経営革新計画）

取組状況

経営計画作成のレベル ➡ **中長期計画（３～５年以内）あり 経営革新計画の承認**

【経営革新計画の承認を受け、新たな取組を実践！】

■経営の拡大を目指し、３～５年を意識した中長期な経営計画を作成しましょう。高度な計画となる経営革新計画の承認は、低利融資や補助金申請時の加点等、多くのメリットがあります。『稼ぐ力』を最大限に発揮するため、積極的にチャレンジしましょう。

【主な取組事例】

①新たな生産方式や最新の機械を導入し、生産性を向上
②工場の増設や最新の設備導入により、生産効率を改善
③地域課題を解決するための新たなサービスを開始
④関連する異業種に参入し、業務内容を拡大
⑤ＩｏＴやＡＩ等の先端技術の導入による業務効率を改善

活用できる補助金

かがやく未来型中小企業応援事業補助金（県）

製造業を営む中小企業のＩｏＴ等先進技術の活用等による新たな生産方法の導入等への取組を支援
▽経営力強化型：　・補助率：原則1/3　・限度額：600万円
▽小規模経営力強化型：　・補助率：原則1/2　・限度額：400万円

攻めのサービス産業等応援事業補助金（県）

中小企業ＩｏＴ等先進技術の活用等による非製造業分野で行う新たな取組を支援
・補助率：原則1/3　・限度額：500万円

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（国）

新製品開発のための製造機械や効率的な最新の加工機等の購入、システム構築費用等を支援
▽一般型：・補助率：原則1/2　・限度額：1000万円
▽小規模型：・補助率：原則1/2　・限度額：500万円

次なるステージに向けてステップアップした事例

ステージ1 ➡ ステージ2 にステップアップ！

持続化補助金の有効活用で経営課題を解決

事業所名 ラーメンキッチンＫａｉ（由利本荘市商工会）

「効率の悪い注文から会計までの流れを円滑にしたい」という以前からの経営課題を解決するために、経営計画の作成に着手した。計画において、自動発券機の導入等が有効な解決策であると考え、その手段として持続化補助金の申請にチャレンジした。結果として採択となり、経営計画に沿って事業に取り組んでいる。

事業者の声

経営計画を立てることで課題を整理することができ、何を検討し、どのように行動すべきかが明確になった。初めて持続化補助金を申請し、事業を実施した結果として、自動発券機導入による業務効率化や回転率改善につなげることができた。今後も計画的な商売の拡大に向けた取組や有効的な補助金の活用を検討している。

ステージ2 ➡ ステージ3 にステップアップ！

「葬儀に係るワンストップサービス」の実現に向けた取組

事業所名 株式会社 丸栄堂（仙北市商工会）

葬儀に係る自社サービスを広く周知するため、持続化補助金を活用して看板やチラシの作成を行った。その後、事前相談から葬儀・墓石の建立まで対応するワンストップサービスを実現するため、これまで会社になかった葬祭会館を新設することで可能とし、経営革新計画の承認を受けた。また、見積もりなどをタブレット端末で行えるソフトをIT導入補助金により導入した。

事業者の声

経営革新計画の作成及び承認により、やるべきことが「見える化」され、それを推し進めることで新サービスを完成させることができた。また、日々の活動を随時確認することでPDCAサイクルをうまく機能させている。各段階において、各種補助金を活用したことで、費用面での負担も軽減することができた。

ステージ2 ➡ ステージ3 にステップアップ！

顧客ニーズに合った新商品の開発で経営を革新

事業所名 モロヘイヤめん加工所（河辺雄和商工会）（農家レストランゆう菜家）

無農薬自家栽培のモロヘイヤ等を使った「乾燥野菜」「野菜パウダー」「自家製漬物」を開発するために、持続化補助金を活用して乾燥機、粉砕機、真空包装機を導入した。また、これらの開発を内容とした経営革新計画を作成し、承認を得ることができた。現在は、さらに「ものづくり補助金」を活用した新たな取組に挑戦している。

事業者の声

商工会とともに経営計画を作成することで、日々考えていることの棚卸をすることができた。経営計画の作成の過程で経営への意欲が増進し、後継者も一緒に取り組んだことで意識共有を図ることにもつながった。また、作成した計画は持続化補助金申請の段階から次のステップを意識した利益の向上につながる計画となっており、経営革新計画の承認を受けることができた。

ステージ3 ➡ さらなるステージへステップアップ！

受注拡大から生産体制整備までの一貫した取組を実現

事業所名 有限会社 川村鉄工所（湖東3町商工会）

自社開発製品（林業現場の安全を守るための林業機械に装着するスパイク）を広くPRするため、持続化補助金によりパンフレットやHP等の作成を行った。また、受注が増加することを踏まえ、生産性向上の取組を中心とした経営革新計画を作成し、承認を受けた。さらには、「ものづくり補助金」により「アーク溶接ロボットシステム」を導入して、生産体制を整備している。

事業者の声

独自の製品を開発し、その優位性をPRする取組を行った結果、予想以上の反響があり、対応できないほどの新規注文があった。これを受けて、計画的に生産性向上の取組や溶接ロボット導入による生産体制の整備までの一貫した仕組みを構築することにより、新たな大手企業からの大量注文も獲得することができた。

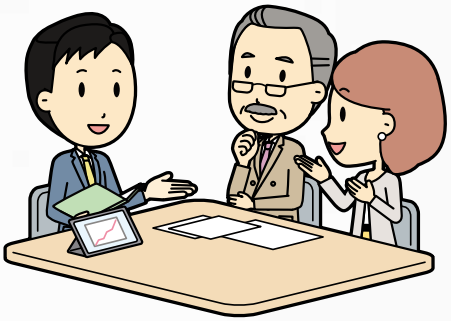
Biz plus 掲示板

小規模企業者元気づくり事業費補助金のご案内

県の「小規模企業者元気づくり事業費補助金」の二次募集が始まりましたので、お知らせします。

補助対象事業

- 販路拡大
  - 例 新たな販路を求めた国内外の商談会への参加
- ICTの導入による付加価値・生産性の向上
  - 例 ホームページの開設やネット販売システムの構築、管理システムの導入
- 新商品・サービスの開発
  - 例 3Dプリンターを導入しての新商品開発

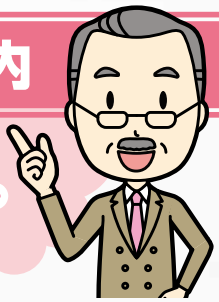


補助金額 補助限度額 100万円（補助対象経費の1／2以内）

募集期間 令和元年7月8日（月）～8月9日（金）

お問合せ先 最寄りの商工会

中小企業退職金共済（中退共）のご案内



頑張ってくれる従業員のために…

そんな社長さんの思いを、

国の退職金制度「中退共」がサポートします。

●掛金を助成　●全額非課税　●カンタン管理

家族従業員の加入もOK!

事業主と生計を一にする同居の親族のみを
雇用する事業所の従業員も加入できます。

※他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。
詳しくはホームページをご覧ください。 中退共 検索

（独）勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL（03）6907-1234　FAX（03）5955-8211

広告

万が一の時に備え、
従業員やご家族を守ります

貯蓄 商工貯蓄共済 保障 融資 3つの特徴

月々2,000円から

VEGETABLE OIL INK ※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹
購読料／１部10円（会費に含む）毎月１日発行　発行日／令和元年7月1日
（昭和45年12月３日第３種郵便物認可）